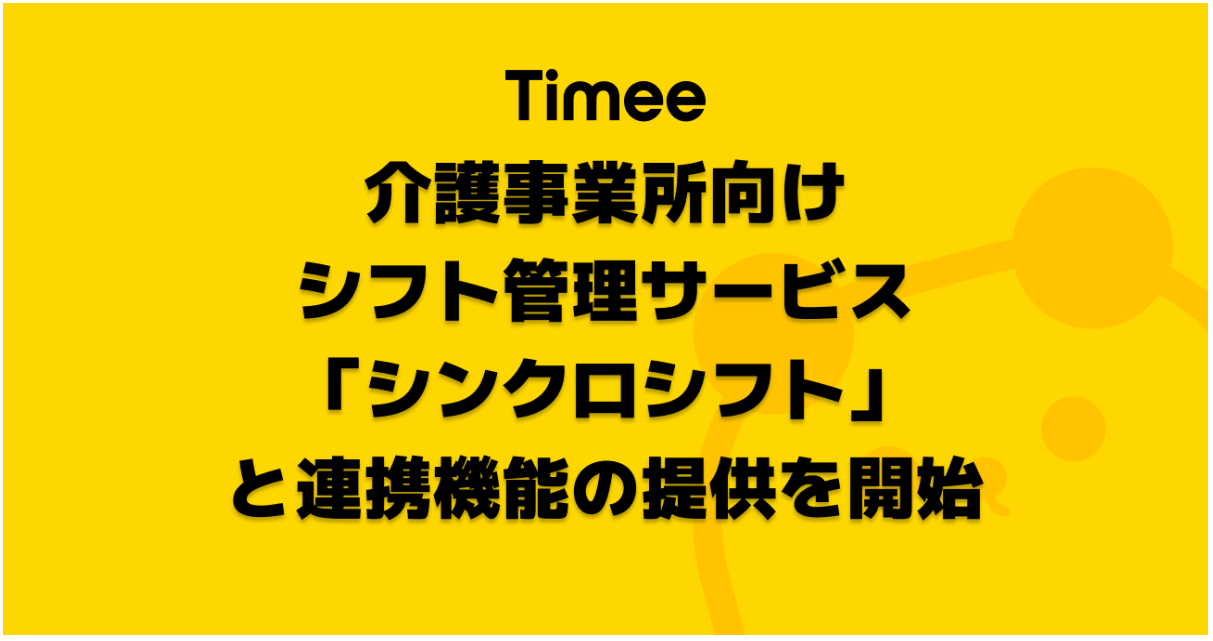
はたらくに“彩り”を。
Timee

Press Release

2026年11月17日
株式会社タイミー

介護事業所向けシフト管理サービス「シンクロシフト」と連携機能の提供を開始

スキマバイトサービス「タイミー」を提供する株式会社タイミー（所在地：東京都港区、代表取締役：小川 嶺）は、介護事業所向けシフト管理サービス「シンクロシフト」を提供する株式会社サインキューブ（本社：東京都港区、代表取締役：岡田 耕平）と提携し、「タイミー」との連携機能の提供を、2026年11月24日に開始いたします。



連携の背景と目的

介護業界では慢性的な人手不足が続いており、厚生労働省の「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数」によると、2026年度（令和8年度）の介護職員の必要数が約240万人に対して2040年度には約272万人が必要とされ、不足する介護職員の人数が2026年度時点で25万人、2040年度には57万人になると予測されています（※1）。
当社はこれまでも、人材不足解消への一助として、“無資格・未経験者の業界流入促進”と“潜在有資格者の掘り起こし”による多様な人材の確保が必要であると考え、様々な取り組みを推進しています。取り組みを推進する中、現場では人員配置基準を満たすシフト表作成や急な欠員への対応など難しいシフト管理も課題となっていました。

そこで「タイミー」と「シンクロシフト」が連携することで、介護事業者が「シンクロシフト」でシフト表を作成し、追加の人員が必要な場合にワンタッチでタイミーの求人掲載画面へつながる仕組みを実現いたしました。こうしたシームレスな連携により、介護事業所における人的リソースの最適化をサポートしてまいります。

（※1）厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」（2024年7月12日公表）
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_41379.html

機能の概要

シンクロシフトとタイミーの連携により、シンクロシフトのシフト画面上で把握した人員不足に対して、スムーズにタイミーでの募集につなげることができ、人員確保にかかる手間や時間を削減できます。

連携機能のメリット

・勤務日・シフトの情報を、「タイミー」上で改めて入力する必要はありません。
・シフト表で把握した不足枠の募集手続きまでを、シフト画面を起点に進められます。

シンクロシフトの主な機能
・シフト表の自動作成：毎月のシフト表をAIで自動作成します。
・加算要件の確認：対象のサービス種別では、サービス提供体制強化加算・個別機能訓練加算の充足状況を確認できます。

シンクロボードの主な機能
・「シンクロシフト」に蓄積されたシフトデータをもとに、売上人件費率や加算取得状況など、介護経営に必要な各種経営指標を確認できます。

■株式会社タイミー　会社概要

設立	：2017年8月
代表者	：小川 嶺
所在地	：東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター 35階
証券コード	：215A
企業HP	：https://corp.timee.co.jp/
タイミーラボ	：https://lab.timee.co.jp/
スポットワーク研究所	：https://spotwork.timee.co.jp/

■株式会社サインキューブ　会社概要

設立	：2021年9月
代表者	：岡田 耕平
所在地	：東京都港区麻布十番2丁目20番7号
企業HP	：https://hp.syncube.co.jp/
シンクロシフト	：https://synchroseries.jp/
介護情報サイト「SHIFT LIFE」	：https://shiftlife.jp/